

A Proposal Concept of Two Way Approach

Human Trail



Veterinary Medicine



Classical Way

Large Exp Animals



A Proposal Way

(Kobayashi E 2009)

Japanese Chapter of ISEM (The East Branch) "Monthly One Day Training

We will use dry lab models in basic skills. Ten meeting will be opened while we help to progress the skills of competent participants.

"By more than 80% of attendance in every year, the young veterinary surgeons will receive *the certificate for a year*.

"Recommendation to be a *member for ISEM*We encourage that young veterinary surgeons will present their works in ISEM 2016 in China.

"This is **volunteer work**. We would like to donate some money for **Shelter Animals**.

(Ishii & Kobayashi 2014)

3 C Approach

•Curriculum:

Teaching is driven by a written curriculum which is given to the students to guide their learning

•Competency:

After the teaching, learners are evaluated to see if they have acquired the desired competency

•Clinical outcomes:

Learners report their clinical experiences over the long term, to evaluate the value of the training in the clinical practice of medicine

Report

第3回 ISEM 東日本支部勉強会

さる7月23日 (水)、慶応義塾大学医学部の実習室にて、ISEM (International Society of Experimental Microsergery) * の第3回東日本支部勉強会が開催されました。慶応義塾大 学医学部 臓器再生医学講座 特任教授の小林英司先生が講義と実習を担当。約20名の獣医 節たちが熱心に参加し、マイクロスコープを使っての吻合練習などに挑みました。



小林英司先生

※ ISEM: 顕敬鏡や拡大鏡を使って手術を行う "Microsergery" (マイクロサージャリー) の国際学会

ISEM 東日本支部立ち上げの経緯

もともと遠藤薫先生(遠康犬猫病院 院長)が、1996年に 腎臓移植の技術を学ぶため MS(マイクロサージャリー)の スペシャリストである小林英司先生に MS の技術を学んだこ とがきっかけとなっています。

今年はじめ、石井宏志先生(東京動物医療センター 院長) から遠藤先生に「自分たちも MS を学べないか」との相談 があり、速塵先生が小林先生を紹介することに。3者で会 議を重ねる中、勉強会の立ち上げが検討され、小林先生の 提案で京都で開催された ISBM の国際会議に参加し、そこ で認定を申請しました。その結果、ISEM からの認定を受け、 今年5月、獣医療での MS の発展を目指した ISEM 東日本 支部を立ち上げることになりました。

小林先生は、以前から動物実験の成果を人間に応用する だけでなく、犠牲になった動物のために役立てられないか と考えていました。今回遠康先生からの相談を受け、「私の 技術が獣医療に役立てられ、1匹でも多くの動物の命が救 えるなら」と、ISEM 東日本支部の立ち上げに協力するこ とになりました。

講義と実習から成る勉強会を月1回開催

同支部では、今年5月から月1回ペースで2時間半ほど の勉強会を開催。第3回となるこの日は、小林先生がMS を行う際の姿勢や手首の動かし方といった基本のコツを講 義。その後、血管模型の吻合練習をマイクロスコープを使っ



小林先生の講義を熱心に聞く参加者 進行役を務める石井宏



志先生

て実際に行いました。実習で は、小林先生が参加した獣医師 一人ひとりに細かくアドバイ ス。時には自らマイクロスコー プを使って血管模型を吻合して みせ、MS の技術を熱心に指導 する場面もありました。次回の 開催は9月17日予定、会費は 1,000円/回。余った会費はす べて動物保護団体に寄付するこ とになっているそうです。



小林先生自ら血管模型を吻 合する場面も。

「途中からの参加も可能なので(注:その場合は修了証が 出ない)、ぜひ多くの獣医師の先生方に参加していただき、 MS を動物を教うために役立ててもらいたい」(小林先生談)

ISEM 東日本支部勉強会のお聞合せ

漢篇集集 (Mail: kaoru-endo29@endo-inuneko.com) 連幕犬猿病腔 (飛須塩原) TEL:0287-36-5680 FAX:0297-36-8731 連幕大磁病院(宇都宮) TEL: 028-666-8878 FAX: 028-666-8199 石井宏志先生

東京動物医療センター TEL: 03-3331-3381 FAX: 03-3331-0896







発起人となった遠藤先生(右)も指導にあ 慣れないマイクロスコープをつけての実習 に戸惑いながらも練習に励む参加者たち。



Basic Point: 1

Posture



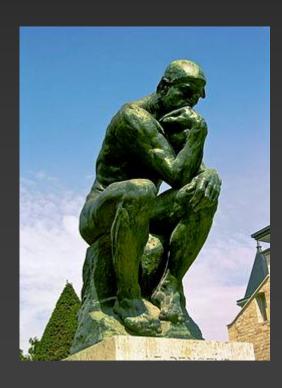
Attitude

Pose

Basic Point: 2

Position

Elbow



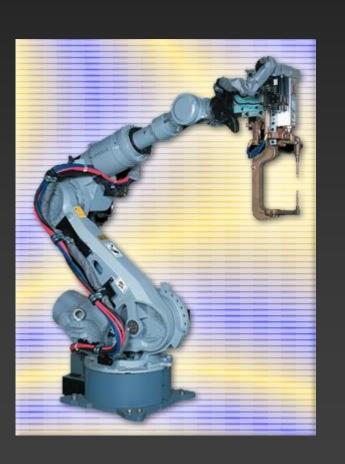
Wrist

Technical Point: 1

Inside Out

Outside In

Technical Point: 2



Rotation

Multiple Joints
vs
Fixation

Technical Point: 3



Exercise

Wrist Exercise

Chopsticks Exercise

Application of Microscope for Veterinary Surgery



